

放射線安全フォーラム
第91回放射線防護研究会
「自然起源放射性物質(NORM)に関する放射線防護と実務管理上の課題」

2025 年秋、放射線審議会は自然起源放射性物質(NORM)に関する新報告書「自然起源放射性物質に対する放射線防護の基本的考え方」を公表した。この新報告書で示された方針に沿った防護の考え方と実務管理をスムーズに社会実装するためには、想定される懸念や課題を具体的に整理し、関係者で共有することが重要となる。本研究会では、講演(1)で NORM に関する基礎知識について説明した後、講演(2)で Forum for Nuclear Cooperation in Asia (FNCA)の 2024 年報告書に基づき、海外、特にアジア・太平洋地域における NORM の実情とその管理に関する最近の論点について共有いただき、講演(3)で上述の放射線審議会による新報告書の策定経緯とその概要について紹介いただく。講演(4)では、関連する内容を扱った日本保健物理学会 2025 年研究発表会(2025 年 12 月水戸開催)と日本原子力学会 2026 年春の年会(2026 年3月熊本開催)における2つの企画セッションでの議論に着目して、その論点を整理した上で、総合討論では、我が国が目指すべき NORM の合理的な防護と具体的な管理のありかたについて、未来志向で意見交換する。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2026年6月20日(土)14:30~17:00

場 所 : 株式会社千代田テクノル本社2階会議室(ZOOM Webinar を併用したハイブリッド開催)
※コロナ感染拡大防止の対策として現地参加は先着20名様に絞らせていただきます。

※参加される方は参加フォーマットにて「WEB 参加」「現地参加」いずれかを選択願います。

2. プログラム

司 会 : 三輪一爾 放射線安全フォーラム 企画委員

講 演 :

- (1) 「私たちの身のまわりに存在する自然起源放射性物質(NORM)の特徴」
飯本武志 (東京大学 教授)
- (2) 「FNCA NORM&TENORM 統合報告書から読み解くアジア・太平洋諸国の NORM 管理の取組」
橋本 周 (日本原子力研究開発機構 技術主席)
- (3) 「放射線審議会による新 NORM 報告書の策定経緯と概要」
甲斐倫明 (放射線影響協会 理事長 (放射線審議会 前会長))
- (4) 「我が国における NORM の合理的な管理に関する論点と課題」
三輪一爾 (名古屋大学 特任准教授)

総合討論

※ 本研究会での、録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参加費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般:3,000円

学 生:無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

6月12日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み:ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。

参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日参加できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日:2026年6月12日(金)17:00

6. 問 合 せ: mail@rsf.or.jp

[懇親会] プログラム終了後、現地参加者が参加可能な懇親会を、17時30分から2時間程度を予定しております。併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途5,000円です。(支払い方法は上記の口座振り込みと同様です。)

※昨今の物価上昇や運営費等の増加に伴い、懇親会参加費を5,000円とさせていただきます。ご了承ください。

以上